

令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画(工業技術センターの広島県・広島市連携)

区分	主な合意内容	令和4年度の事業報告	令和5年度の事業計画	
連携委員会・ワーキンググループ会議の開催(協定第3条)	下記連携・協力事項の活動を推進するための方策等について、協議・決定するために連携委員会・ワーキンググループ会議を開催。	連携委員会をオンラインで開催し、具体的取組について、合意・決定した。 【R4開催実績】 ・連携委員会：6月28日(Web開催) ・ワーキンググループ会議：なし	7月に連携委員会をWeb開催する。その他、連携委員会での協議が必要な議題が生じた場合は、双方協議の上で適宜開催する。 【R5開催計画】 ・連携委員会：7月11日(Web開催)	
連携・協定事項(協定第2条)	(1) 機器・設備の利用に関する事項	協定に基づき、機器・設備の相互利用を実施した。 【R4県市相互利用実績】 3件 ※市工技の粉碎機を西部Cが利用(2件)、西部CのDSCを市工技が利用(1件)	相互利用協定に基づく機器利用の促進のため、各研究員に対して、当該協定と保有機器の周知に取り組む。	
	(2) 研究会・研修会に関する事項	同一産業分野で県市が個別に開催してきた研究会・研修会を役割分担し、共同で開催。 【R4開催実績】 ア 広島表面処理技術研究会 役割分担：実技(西部C)、座学・見学会(市工技) 座学：4回、見学会：1回、実技：1回、総会・役員会：3回 参加者数：のべ90名 ※書面開催分を除く イ 広島高分子材料研修会 役割分担：実技(西部C)、座学(市工技) 座学：3回、実技：1回 参加者数：のべ93名	以下の研究会等を県市共同で開催した。 【R5開催計画】 ア 広島表面処理技術研究会 役割分担：実技(西部C)、座学・見学会(市工技) 企業案内時期：4月 企業案内方法：郵送、メール、HP掲載 開催時期：(実技)7月、(座学・見学会)6月～2月、総会・役員会：6、10、3月 イ 広島高分子材料研修会 役割分担：実技(東部C)、座学(市工技) 企業案内時期：6月(市工技)、8月(東部C) 企業案内方法：郵送、メール、HP掲載 開催時期：(実技)10月、(座学)6月～2月	双方の強み(技術、設備)を活かし、企業ニーズに沿った質の高い研究会、研修会とすることを目的に、以下の研究会等を県市共同で開催する。
	(3) 共同研究に関する事項	企業の要望に応じて県市が共同で企業の問題解決への取組を実施。	—	企業から要望があった場合など、必要に応じて、共同で問題解決への取組を実施する。
	(4) 職員の人事交流・人材育成に関する事項	相互派遣による人材交流や県市合同の研修等による人材育成を実施。	—	必要に応じて、研修等を随時開催し、各研究員・職員の技能向上とネットワーク強化に取り組む。
	(5) その他			
	① 共通ポータルサイトの運営	技術相談先、保有機器・技術、各センターの研修等が一覧可能な県市工業技術分野の共通ポータルサイトを開設。	継続して共通ポータルサイトを運営した。 【R4アクセス件数実績】 6,104件 ※R3同時期：6,464件	継続して共通ポータルサイトを運営するとともに、各種セミナー等の機会を活用し、引き続きPRを行う。 保守・更新は、引き続き広島市が担当する。
	② 窓口のワンストップ化	県市の技術・機器情報について、一覧可能なリストを作成し、関連職員に配布することで、迅速に技術担当者・機器を利用者に紹介できる取組を実施。	県市間で保有技術・機器情報について、情報共有するとともに、相互紹介を行った。 【R4相互利用実績】 相互紹介による企業等の利用件数：36件(相互紹介件数：58件) ※詳細は、別紙一覧のとおり ※R3同時期：25件(相互紹介件数：54件)	利用者の利便性向上と相互紹介の簡素化を目的に、引き続き以下を実施する。 ・各職員に配布する保有技術・機器リストの更新 ・相互紹介案件の内容把握と共有 (主に「相互紹介の結果、他機関を紹介した、全く対応できなかった案件」等、以後のスムーズな案内等に役立つ事例の共有)
	③ 機器・設備整備	県市の機器等を効率的に整備するための事前調整を実施。	連携委員会での事前調整の上、JKA補助金等の活用により、以下の機器を県市それぞれ整備した。 【R4機器整備実績】 (東部C) 振動試験機 圧縮強度試験機 (市工技) 表面性試験評価システム	JKA補助金等の活用により、以下の機器を整備する。(整備内容は令和4年度に調整済み。) 【R5整備計画】 (西部C) レーザー加工機 (東部C) メルトインデクサー (市工技) 接触式三次元測定機 また、令和6年度に整備する機器について、県市間で事前調整を行う。(8～9月頃に県から照会予定。)